

脱炭素社会の実現について (「北九州市グリーン成長戦略」について)

1 「北九州市グリーン成長戦略」について

本戦略は、環境と経済の好循環による2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、「北九州市地球温暖化対策実行計画」(2021年8月)のアクションプランとして策定するものであり、「エネルギーの脱炭素化」と「イノベーションの推進」について戦略的に取り組むことで、その実行性を高めるものである。

2 戦略(案)の検討経過について

戦略の検討に当たっては、エネルギーの専門家や地元企業で構成される「アドバイザリーボード」(別紙1のとおり)を設置し、専門的知見からの助言を収集するとともに、企業・大学等との意見交換を通じて、各界のニーズやシーズを把握しつつ議論を重ね、今回、戦略案を取りまとめた。

年月	アドバイザリーボード会合	意見交換・ヒアリング
令和3年7月	第1回(議論の方向性) 第2回(風力、PV・蓄電池)	企業・大学・金融機関など 53社・団体(延べ89回)
8月	第3回(水素、エネルギー全般)	
10月	第4回(イノベーション)	
11月	第5回(戦略案の検討)	
12月	第6回(戦略案のとりまとめ)	

3 戦略(案)について

別紙2のとおり。

4 アドバイザリーボードからの主な助言

- 世界や国が目指す方向性を踏まえながら、北九州市の強みを活かし、課題を克服する、北九州市ならではの取組を盛り込むべきである。
- 市内の企業や大学との連携が促進されることで脱炭素化が加速すると考えるため、産学官の連携のための仕組みづくりが大切である。
- 人材育成では、これから10年で社会がどのような方向に動いていくのか、何をやらなければならないかを自ら考えられる人材を育成していくことが重要である。
- 2050年のカーボンニュートラルの実現に向けては、技術開発や技術革新の可能性に加えて、世界情勢の変化など不確実性が伴うものであるため、様々な選択肢を検討した上で道筋を示す必要がある。また、取組の推進に当たっても、柔軟な見直しが必要である。

5 今後のスケジュール(予定)

本報告後、戦略を取りまとめ、策定・公表する予定である。